



こうご こうさく	
向後 功作	
区 分	鉄道事業者関係
居 住 地	千葉県
所属・役職	株式会社 観光交通プロデュース 代表取締役

相談方法・連絡先

相談方法	メール及び電話
相談可能日時	随時
電話番号	0479-26-3321
メールアドレス	kougo@kkpc.jp

取組の概要

- ・銚子電気鉄道在職時、広報担当として積極的な情報発信に努め銚子電鉄の知名度向上に貢献した。
- ・地域鉄道存続のためには地域の活性化が不可欠との信念のもと、大学でまちづくりを学び、まち歩きとセットにしたイベント列車運行など、鉄道のイベント開催にあたって、まちの魅力もPRできる要素を盛り込み、銚子のまちの知名度向上に尽力した。
- ・平成22年4月、銚子電気鉄道を退職し、銚子市観光プロデューサーとして地域観光振興の企画や営業活動、市民活動の連携支援を行った。

本人の言葉

交通事業者、地域の市民、行政の三位一体での地域振興への取組が、強いては地域の仕組みとしての公共交通を維持・存続できるカギとなります。交通事業者も積極的に地域活動に参加すると共に、情報公開など交流に努めていただきたいと思います。そういった活動の一つひとつに対して、交通事業者が行う話題づくりや様々な企画、情報発信のあり方、利用者や市民、関係する組織団体の様々な活動などに対して、私もこれまでの経験と知識を基に、積極的に支援させていただきなど、現場に入って関わらせていただきたいと思います。

略歴等

- 昭和56年4月 (株)日本情報開発
- 昭和58年1月 銚子電気鉄道(株)入社
- 平成12年3月 鉄道部次長、鉄道主任技術者
- 平成18年3月 鉄道部次長、運転管理者、施設車両管理者
- 平成22年4月 銚子電気鉄道(株)退社
- 平成22年7月 (一社)銚子市観光協会 銚子観光プロデューサー
- 平成25年3月 (一社)銚子市観光協会退職
- 平成25年4月 銚子市行政アドバイザー就任
- 平成26年3月 銚子市行政アドバイザー退任
- 平成26年4月 (株)観光交通プロデュース設立 代表取締役就任
現在に至る

取組の内容、先進性・独創性

- 銚子電気鉄道在職時、鉄道事業の維持に関わる管理職として、従事すると共に広報担当として情報発信・メディアの対応を行ってきた。
- 平成19年1月銚子電鉄サポーターズの設立では、市民や銚子市と共に支援活動のコンセプトをまとめた。
- 銚子電気鉄道を退職し、現在は(株)観光交通プロデュース代表取締役として地域観光振興の企画や営業活動、市民活動の連携支援を行っている。

知識・経験・熱意、地域の取組みでの存在感

- 公共交通における実務経験も長く様々な経験と企画実績を持つと共に、自身が関わっている一般社団法人交通環境整備ネットワークで常任理事地域鉄道支援事業本部長という役職で地域鉄道支援活動を展開している。
- 銚子電気鉄道在職中から、テレビ、ラジオ、新聞などでの露出度は高く、また、同鉄道在職中の実績はもちろんのこと、社外における自主的活動を通して、その存在を知る市民は少なくない。
- また、千葉大学で学んだ都市計画やまちづくりについては、単に知識として留め置かず、実際の活動(市民活動や銚子市観光プロデューサー)に十分活かし、公私共に積極的な活動を行っている。
- 銚子電気鉄道を早期退職し、銚子市観光プロデューサーとして、観光振興の中心として活動。

地域の活性化等への貢献度

- 地域鉄道存続のためには地域の活性化が不可欠との信念のもと大学でまちづくりを学ぶと共に車内での演劇とまち歩きを組み合わせたツアーや地元の特産品を活用した物販の企画など地域活性化に貢献
- 地域の認知度を高める外川ぶらっと、銚子あるくネットワーク等の銚子電気鉄道を軸としたまち歩きイベントを開催した。
- 市民と市役所が協働で行ってきた活動において、数多くの座長を務め、観光振興やまちづくりに関わってきた。

先達としての活動

- H20. 7 セブンイレブン千葉県内オーナー研修会講師
「銚子電鉄の魅力」
- H21. 6 銚子市青少年文化会館事業 郷土史談会 講師
「銚子電鉄の歴史とその役割から、今後のまちづくりについて語る」
- H21. 10 千葉市生涯学習センター主催「千葉カレッジ」
もっともっと、ちばーちばからのヒント 講師「ローカル鉄道とまちづくり」

銚子電気鉄道(株)の概要

(1) 会社概要 (H 23.1現在)

名称 銚子電気鉄道株式会社
所在地 千葉県銚子市新生町2丁目297番地
代表者 代表取締役社長 小川 文雄
資本金 6,910万円 (発行済株数 240千株)
要員 22名 (鉄道部門)

(2) 鉄道事業概要

営業区間 銚子～外川(電気、6.4キロ)
駅数 9駅 (JRへ委託の銚子駅を除く、有人5、無人4)
車両数 電気機関車1両、電動客車9両、客車遊覧車1両
運行回数 33往復(66本)



マイスターの主な取り組み及び成果

(1) 向後功作氏の主な取り組み

①物品販売による収益向上

鉄道事業の赤字を補填するため、銚子の名産品である醤油を活用したぬれ煎餅の販売事業立ち上げに携わったほか、各種鉄道関連グッズ等の販売を企画。

②メディアを活用した話題作り

銚子電鉄が経営危機に陥った際に、インターネットを通じて広く支援を呼びかけるとともに、ブログを開設してこまめに近況報告を行い、それが後の「銚子電鉄サポーターズ」設立に結びついた。

また、企画乗車券発売にあたって、メディアを活用して業績向上に貢献。

③他業種とのコラボレーション

東京の劇団と連携した車内演劇の実施、ゲームソフト会社と連携したラッピングトレインの運行、セブンイレブンと連携した銚子電鉄弁当の販売等、様々な企画を担当。

④自らの知見の普及

著書「がんばれ銚子電鉄」の出版、自らが所属する交通環境整備ネットワークや大学等における講演活動などで自らの知見を周知。

(2) 取り組みの成果

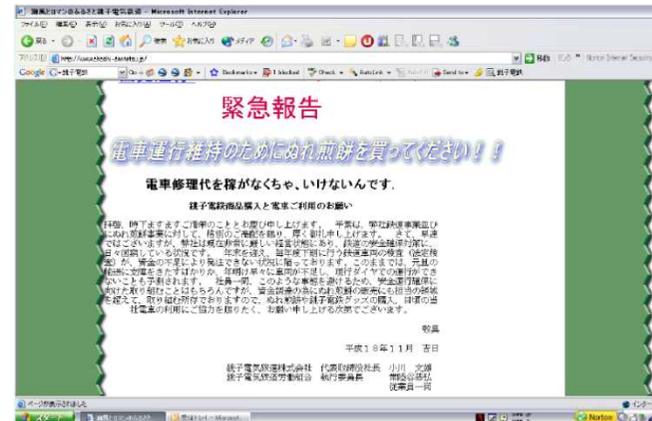
銚子電鉄の経営危機脱却、銚子電鉄およびまちの知名度向上、銚子電鉄支援団体「銚子電鉄サポーターズ」の設立等。



①ぬれ煎餅



①グッズ



②インターネットを通じた支援呼びかけ

鉄道と演劇がコラボした観光型演劇



③車内演劇



③ゲームソフトのラッピング



(2)銚子電鉄サポーターズ